起業家として、SDGsに挑戦

# 留学時代の仲間と環境ビジネスを起業

## 黒川周子さん | 株式会社esa 共同代表

Chikako Kurokawa

### 越境するスピリットで人々に喜ばれるビジネスを

新たな環境ビジネスとして、再資源化が難しく燃やされていた複合プラスチックのリサイクル事業「esa（イーサ）」を設立した黒川周子さん。和菓子の老舗企業の創業家に生まれ、自身も飲食業界に従事してきた経営者は今、これまでのキャリアを生かし新事業に挑んでいます。

「心機一転の起業ですが、実は人生の出会いや経験が元となっています。共同代表は英国留学時代の友人ふたりで、ひとりは台湾人の機械業、ひとりは日本の包装資材業界出身です。コロナ禍にちょうど日本で市場調査をしていた彼らから連絡があり、私も包装資材の有料化に悩んでいた経緯もあって意気投合。京都大学大学院やベンチャーキャピタル『みやこキャピタル』の協力を得て始動しました」

異なる分野への挑戦については、「知らないことばかりですが、何もしない後悔より、して後悔するほうがいいと思う質で、チャレンジすることは心がけてきました。振り返ると、最初のチャレンジは中学3年の夏休み。家族の知人を英国に訪ねたとき、学校見学に行って留学を決めました」。母語でない英語の環境にも「思い切って入ってみると周りの人に助けられ、どうにか上手くいきました。その実体験から、挑戦してみる姿勢は今も変わりません」。渡英以降はすぐに帰るのはもったいないと、進学を続けロンドン大学を卒業。その後NYでアパレル企業に勤めるまで、12年間を海外で過ごしました。

帰国後は30歳を前に独立。主に食の分野で携わられてきましたが、洋服でも食品でも素材からこだわる製品を作り、お客さまに届けることへの興味は共通していたといいます。

他方、ビジネス以外では東日本大震災後にチャリティ「チームカーネーションズ」を仲間と設立。食品の調達や植樹などに取り組み、昨年からは伝統工芸の継承を目指す「江戸東京きらりプロジェクト」の推進委員を務めるなど、未来を見据える社会活動も継続しています。

何事も恐れずトライする。そのモチベーションは「学べて、成長できると感じること」。決断で迷うときの対策は「俯瞰（ふかん）して見る。一点を見るとネガティブに思えることでも全体を見ると改善策が思いつきます」。また「人生の先輩と後輩の両方の意見を聞くことも大事にしています」。モットーは「謙虚であること。常に周りの方々へ感謝をし、礼を尽くす。そこからよい人間関係、よい作用が生まれると思います」

### 日本の工業界に女性の視点を

そして女性活躍が推奨される昨今、画期的なのは、女性起業家として参入した業界が男性社会であったこと。「日本の工業や環境事業の業種には男性が多く驚いていますが、共同創業者や会社の仲間は海外経験のおかげかジェンダーの壁を感じないのはいいところ。スタートアップはITやサービス業が多く、工業は希少ですが、日本には優れた知財があるのでもっと大学発ベンチャーが生まれることを期待します。また技術開発の分野は新技術ありきで商品化する傾向がありますが、私はサービス業に携わってきた経験から消費者側の女性目線も取り入れたいです。そして次世代の女性が起業しやすくなる環境作りもしていきたいと思っています」

BIOGRAPHY

- 1990年代
  中学時代から英国へ留学。
- 2000年代
  ロンドン大学卒業。NYでアパレル企業に勤務。
- 2008〜2022年
  帰国後、独立。食のプロデュースや経営を行うベイクウェルの代表に。
- 2022年
  esa創業、共同代表に就任。

### 国内外のネットワークを生かして躍進

**1** 中学から英国へ留学。**2** 帰国後は独立し飲食事業に従事。2013年に「ベイクウェル」設立、フランスの老舗洋菓子店「ルコント」の復活などに携わる。**3** 環境マネジメント企業「esa」を創業。独自開発の機械で、複合プラスチックを再生ペレットとして再資源化に取り組む。講演に登壇する黒川さん。esa-gl.com

3

2

1